

「ハレの日」はデコ巻き寿司で！

川井 ゆかりさん

みなさん「デコ巻き寿司」ってご存じですか。デコ巻き寿司マイスターであるとともに、巻寿司特任大使として作る楽しさ、それをみんなで楽しみながら食べることを伝えている川井ゆかりさんにお話を伺いました。



●**デコ巻き寿司とは**
 具材と巻き方を工夫して断面に美しい図柄を描くお寿司です。仕上がりの断面をイメージしたデザインを自分で決め、「でんぶ」や「ゆかり」などで色付けした酢飯や、数種類の具材を使って作りま

「見る楽しみ」がプラスされ、子どものお弁当やパーティーなどでも喜ばれます。難しそうに思われますが、わかりやすく手順を記載したレシピを使えば、小学生でも巻くことができます。



●**特任大使として**
 「あじかんMAKIZUSHI倶楽部」(広島県)から、二〇一九年度に巻寿司特任大使の任命を受けました。大使の活動では、地域の食材を活かした巻寿司のレシピの考案や巻寿司に関するさまざまなアイデアを発信しています。大使に就任して二年目となりますが、活動を通して多くの方と出会い、学ぶことができました。

●**活動内容は**
 「心の復興」をした、いと思つていきますので、被災地(気仙沼市、陸前高田市、大船渡市など)に年に数回出向き、親子での巻寿司教室を行つています。近隣では、福祉施設や依頼を受けての教室、道の駅やいたや片岡公民館では、長い巻寿司を作るイベントなどにも協力しています。また、自宅でも教室を開催し、巻寿司作りを楽しんでもらっています。

●**教室の内容は**
 自宅での教室は、二人以上の希望があれば開催されています。教室を希望される方が五人以上となる場合は、出張で対応しています。教室の時間は約二時間で、巻き方のコツやアレンジ方法なども教え、楽しいレッスンを心掛けています。

「食べる楽しみ」にもきれいな巻き寿司をみんなで作ることで「心の復興」につながるのではないかと思います。認定マイスターの資格を取得しました。

また、教室に必要な材料や機材などはこちらで準備するので、気軽に体験することができ、巻き寿司を作ってみたいなと思ったら、ぜひご連絡ください。

●**今後は**
 これまでの活動は今後も続けていきたいです。被災地や栃木県内はもろろんのこと、矢板の特産品などの食材を使用したお弁当なども提案できればと思っています。現在、矢板で栽培しているイチゴとリンゴを使用した巻き寿司を思案中です。

また、被災地と同じように支援活動を行っている、たくさんの方々や団体の方と知り合つたことで、災害への備えの大切さについて学ぶことができました。地震に限らず土砂災害や大雨など、いつ起こるか分からない災害の備えについてもたくさんの方に伝えていきたいです。

●**問い合わせ**
 電話：(四八) 三五四六



陸前高田市 奇跡の一本松

(M・W)